

試合番号 : 173	試合会場 : 東広島運動公園体育館	観客数 : 2,500				
開始時間 : 13:00	終了時間 : 15:13	試合時間 : 02:13				
主審 : 山本 晋五	副審 : 弘中 秀治					
JTサンダース広島	通算 13勝 3敗 ポイント : 38	2	19 第1セット 25	3	ジェイテクトSTINGS	通算 15勝 1敗 ポイント : 42
<p>監督コメント</p> <p>すごくタフな試合となりました。第5セットまでもつれる展開となったが、全体的に安定感を欠いていた事が勝り切らなかった要因だと思います。ファンの皆様、ご声援ありがとうございました。</p>	2	3	25 第2セット 19	3	<p>監督コメント</p> <p>JT広島の高さのあるバレーに押されてしまう場面が多く見られましたが、選手たちがよく耐えきり、勝つことができました。年内最後の試合を勝って終わることができて良かったです。年末年始の時間を大切に、また年明けの試合で良いスタートが切れるように準備して参ります。本日もたくさんの応援ありがとうございました。来年も熱い応援、よろしくお願いたします。</p>	
			23 第3セット 25			
			25 第4セット 21			
			8 第5セット 15			
<p>要約レポート</p> <p>8連勝中と勢いに乗るJTサンダース広島と首位を走るジェイテクトSTINGSの一戦。第1セット、ジェイテクト・カジースキ、西田が連続でスパイクを決めて流れを掴む。JT広島はエドガーのスパイクなどで応戦するも、ジェイテクト伏見の連続ブロックで主導権を譲らず、セットを先取した。第2セット、序盤は五角の展開になるも、JT広島は深津のブロックや山本のスパイクで抜け出す。その後もJT広島はエドガーのスパイクなどで相手にリードを許さず、セットを奪取した。第3セット、JT広島エドガー、ジェイテクト・カジースキの打ち合いで、終盤まで競り合う展開になる。しかし終盤、ジェイテクトは西田とカジースキのサービスエースで流れを掴み、セットを取り返した。第4セット、JT広島はエドガーと小野寺のブロックで大きくリードを広げる。その後もリードを守ったJT広島がセットを取り、勝負を最終セットへ持ち込んだ。第5セット、ジェイテクト西田のスパイクで連続得点を重ねる。JT広島はエドガーのスパイクで応戦するが、ジェイテクト西田の勢いを止めることはできず、ジェイテクトがフルセットの熱戦を制した。</p>						

試合番号 : 174	試合会場 : 三島市民体育館	観客数 : 1,712				
開始時間 : 13:00	終了時間 : 15:21	試合時間 : 02:21				
主審 : 小野 将人	副審 : 原 啓之					
東レアローズ	通算 7勝 9敗 ポイント : 23	2	25 第1セット 21	3	堺ブレイザーズ	通算 5勝 10敗 ポイント : 16
<p>監督コメント</p> <p>現状、プレーオフ進出案件である6位以内に入るには、絶対に負けてはいけな試合でしたが、フルセット負けととても悔しい試合となってしまいました。相手も同じ状況だったので、その思いが相手の方が上回っていたということだと思います。ただ、途中から入った内定選手の富田が頑張ってくれたことは、1つ良い所だったと思います。この負けを引きずらず、明日もう一度しっかり戦えるよう準備をしたいと思っています。ホームゲームの中、たくさんの応援ありがとうございました。</p>	2	3	17 第2セット 25	3	<p>監督コメント</p> <p>今日はとても良い試合でした。VOMIに選ばれた千々木選手をはじめサイドの選手、トレス選手を中心に非常に良いパフォーマンスを発揮してくれたと思います。相手チームのホームゲームで勝利出来たことは、非常に大きい試合となりました。明日に向けて、しっかりとリカバリーしたいと思います。本日は会場に駆け付けてくれた皆様本当にありがとうございました。明日も頑張ります。</p>	
			22 第3セット 25			
			25 第4セット 22			
			12 第5セット 15			
<p>要約レポート</p> <p>ホームゲームで地元の声援を受け勢いに乗りた東レアローズと、現在4勝10敗の堺ブレイザーズの一戦。第1セット、序盤と中盤は東レのスパイクと李のサーブで大きく差をつけたが、終盤に堺トレスの攻撃で追迫する。最後はルジェのコースを狙う攻撃により、東レが25-21でこのセットを取った。第2セット、序盤から堺がリードを奪う展開となった。その後、堺はトレスのサーブにより点差をつける。東レは点差を詰められず、堺トレスのブロックや攻撃による活躍で25-17でセットを取り返す。第3セット、どちらも譲らず一進一退の攻防が続く中、終盤に堺トレスと高野の攻撃が決まり、25-22でこのセットを制した。第4セット、お互いに譲らない展開が続く中、東レは富田、ルジェ、堺は出田、トレスらによる点の取り合いが続く。終盤富田のサービスエースから流れを掴んだ東レが25-22とし、セットカウント2-2で並ぶ。第5セット、序盤に堺が先行するも、その後東レが追い上げる。終盤から堺トレスの活躍により、堺が15-12でセットを取り勝利した。</p>						

試合番号 : 175	試合会場 : 三島市民体育館	観客数 : 1,120				
開始時間 : 16:25	終了時間 : 17:54	試合時間 : 01:29				
主審 : 森口 豊	副審 : 戸川 太輔					
サントリーサンパーズ	通算 10勝 5敗 ポイント : 31	3	25 第1セット 20	0	FC東京	通算 3勝 13敗 ポイント : 8
<p>監督コメント</p> <p>今日は選手達が一体となり、素晴らしいパフォーマンスを発揮してくれました。2セット目の競った場面での集中は選手を讃えたいと思います。また、FC東京の粘りに我々も、勝利出来たことは明日につながると思っています。本日も応援ありがとうございました。</p>	3	0	28 第2セット 26	0	<p>監督コメント</p> <p>本日も応援ありがとうございました。しっかりと切り替えて、明日も全力でぶつかっていきます。明日も応援よろしくお願いたします。</p>	
			25 第3セット 20			
			第4セット			
			第5セット			
<p>要約レポート</p> <p>1セット目、前半五角の状況からムセルスキー、薬、栗山の得点で徐々に点差を広げたサントリーがそのまま逃げ切り、25-20でセットを先取した。2セット目、巻き返しを図りたいFC東京は、ブレモビッチのスパイク、井上のブロックなどで流れを掴み前半リードした。中盤サントリーのスパイクが決まり追いつき、その後一進一退の攻防が続く。デュースにもつれたサントリー・ムセルスキーの連続スパイクポイントで、サントリーが28-26で連取した。3セット目、サントリー・ムセルスキーのスパイクやブロックポイントでリードするが、FC東京も粘り、点差はなかなか広がらない。終盤サントリー薬のブロックポイント、ムセルスキーのサービスエースで一気に得点し、25-19としたサントリーが3-0で勝利した。</p>						

試合番号 : 176	試合会場 : 武田テパオーシャンアリーナ	観客数 : 1,500				
開始時間 : 13:00	終了時間 : 14:32	試合時間 : 01:32				
主審 : 浅井 唯由	副審 : 村中 伸					
ウルブドッグス名古屋	通算 6勝 9敗 ポイント : 19	3	25 第1セット 22	0	VC長野トライデンツ	通算 2勝 13敗 ポイント : 6
<p>監督コメント</p> <p>応援、ありがとうございました。まだまだ我々の挑戦は続きます。良い形で2020年を迎えられるよう、明日に向けて良い準備をしたいと思っています。本日は足を運んでいただき、ありがとうございました。</p>	3	0	25 第2セット 23	0	<p>監督コメント</p> <p>大事な場面で細かいミスが出てしまいました。0-3という結果は非常に悔しいですが、明日は年内最後の試合なので修正をし、この気持ちをぶつけたいと思います。遠いところから来てくださったファンのためにも、良い試合をしたいです。</p>	
			25 第3セット 21			
			第4セット			
			第5セット			
<p>要約レポート</p> <p>現在6位のウルブドッグス名古屋が10位VC長野トライデンツをホームに迎えての一戦。どちらのチームも相手の強打を粘り強く繋ぐ場面がみられ、会場が沸いた試合は、ストレートでWD名古屋が勝利した。第1セット、序盤WD名古屋はガスバリーニ、劉、高松が連続で攻撃を決める。その後も、高松がサーブで攻め、3連続ポイントでテクニカルタイムアウトに入る。対するVC長野はパトリックにトスを集めて得点を重ねる。WD名古屋は16-15の場面で椿山を投入。椿山は交代後すぐにライトから力強い攻撃を決め、流れを引き寄せた。最後は高松の攻撃が決まり、WD名古屋が先取した。第2セット、序盤にVC長野の池田や笠川の攻撃がコートに刺さる場面が幾度となく見られたが、WD名古屋は10-10から傳田のサーブ時に6連続得点を叩き出し抜け出した。終盤、追いつきたいVC長野は、森崎、矢貫のクイックで攻め、粘ったもののWD名古屋がこのセットも連取した。このセット、WD名古屋の傳田は、3本のブロック、1本のサービスエースを奪うなど活躍が光った。第3セット、後の無いVC長野は中盤、池田が攻撃・ブロックで5得点の活躍。VC長野が優位に試合を進めるが、ここからという場面で得点が奪えず苦しんだ。終盤はWD名古屋が高梨、傳田、椿山の攻撃で得点を重ね試合を締めくくった。</p>						

試合番号 : 177		試合会場 : 武田テバオーシャンアリーナ				観客数 : 1,500					
開始時間 : 15:30		終了時間 : 16:47		試合時間 : 01:17		主審 : ゲレグ・ルーオー		副審 : 山本 和良			
パナソニックパンサーズ			通算	14 勝	1 敗	大分三好ヴァイセアドラー		通算	2 勝	13 敗	
			ポイント : 41				ポイント : 7				
監督コメント	スタートから良い集中力を保ち最後まで戦い抜いてくれました。少しサイドアウト時の失点があったので明日への反省点とし、また明日2019年を締めくくる試合にしたいと思います。明日も全員で目の前の一戦を全力で戦います。本日もたくさんのご声援ありがとうございました。明日もよろしくお願います。			25	第1セット	17	0	パナソニックの精度の高いサーブにより、終始サイドアウト時にプレッシャーを与えられ、ゲームをうまく作れませんでした。しかし、チームとしての勢いは失われていないので、明日の試合も勝利目指して頑張ります。本日もご声援ありがとうございました。			
				25	第2セット	18					
				25	第3セット	19					
					第4セット						
					第5セット						
要約レポート											
首位争いの中、負けられないパナソニックパンサーズが、下位に低迷する大分三好ヴァイセアドラーを全員バレーで退けた。第1セット、両チームともにミスが目立つ立ち上がりとなったが、中盤の大竹のサーブを起点とする4連続得点で、パナソニックが抜け出した。続くラリーでも4連続得点を奪ったパナソニックが、流れをつかんでセットを先取した。大分三好は12本と、相手の倍のミスを出してしまったのが痛かった。第2セット、中盤までは競り合いとなったが、12-11からの3連続得点でパナソニックがリードした。相手の強打を拾って逆に攻撃を決めたり、長いラリーをブロックアウトで得点に結びつけるなど、攻守に渡ってパナソニックの高い技術が目立った。第3セット、センター攻撃を多用するなど理想的な攻撃を展開したパナソニックが、一度も追いつかれることなく25点まで走りきった。このセットだけでサーブで2点・ブロックで4点を奪ったパナソニックは、相手にはサーブ・ブロックで1点も許さない思い通りのバレーを見た。											

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :				
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		副審 :		
			通算	- 勝	- 敗			通算	- 勝	- 敗
			ポイント : -				ポイント : -			
監督コメント				第1セット						
				第2セット						
				第3セット						
				第4セット						
				第5セット						
要約レポート										

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :				
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		副審 :		
			通算	- 勝	- 敗			通算	- 勝	- 敗
			ポイント : -				ポイント : -			
監督コメント				第1セット						
				第2セット						
				第3セット						
				第4セット						
				第5セット						
要約レポート										

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :				
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		副審 :		
			通算	- 勝	- 敗			通算	- 勝	- 敗
			ポイント : -				ポイント : -			
監督コメント				第1セット						
				第2セット						
				第3セット						
				第4セット						
				第5セット						
要約レポート										